

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	特別講義 3
科目基礎情報						
科目番号	0062		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	情報工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	0.5		
教科書/教材	各自の目標に応じて準備すること。新「情報」活用テキスト：P 検事務局　http://e-class.center.yuge.ac.jp/					
担当教員	高木 洋					
到達目標						
情報工学を専門とするエンジニアとしての将来像を具体的に見定め、自ら目標を設定して、専門的な知識や自己管理による学習習慣を身につけさせる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
自らのキャリアプランに基づいて、計画的に学習することができる。	目標・計画を設定し、具体的に行動することができる。		目標を設定することができる。		キャリアプランについて、具体的なイメージを持ってない。	
自らの目標に基づいて努力を重ね、資格取得等の成果が得られる。	計画に基づき、資格取得が達成できる。		継続的な努力を重ね、技能向上を確認することができる。		継続的な努力をすることが出来ず、技能の向上が認められない。	
学科の到達目標項目との関係						
専門 A1 教養 C1 教養 C2 教養 D1 教養 D2 専門 E1 専門 E2						
教育方法等						
概要	情報工学科特別講義単位任の基準に基づいて、学生が取得した資格について単位を認定する。具体的な資格は、漢字検定準2級、数学検定準2級、工業英語検定4級、P検2級、品質管理検定3級、工事担任者（DD, AI　3種）、日本語検定2級、第1級特別陸上無線技術士とする。					
授業の進め方・方法	基本的には、自学自習により資格を取得を目指す。					
注意点	・各年次ごとに単位認定できる資格は情報工学科において別途定める。 ・自習時間等において、取得支援のための補講を行う場合は、必ず出席すること。 ・新規の事例については学科において検討する。 ・自主学習は40時間以上とし、学習記録を提出すること。（ビジネス手帳で可） ・特別講義の単位認定は、「情報工学科特別講義単位認定基準」（別表）による。					
実務経験のある教員による授業科目						
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	・ガイダンス		資格取得に関する指針を理解し、具体的な目標を定めること。	
		2週	在学中の目標設定、一年間の目標設定		計画に基づいて学習を進められる。	
		3週	スケジュールの確認			
		4週	・自主学習			
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	2ndQ	9週	・学習状況の報告（1）		ビジネス手帳による学習状況を確認し、適切な対応がとれること	
		10週				
		11週				
		12週	・自主学習		計画に基づいて学習を進められる。	
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週	・学習状況の報告（2）		ビジネス手帳による学習状況を確認し、適切な対応がとれること	
		2週				
		3週				
		4週	・自主学習		計画に基づいて学習を進められる。	
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週	・学習状況の報告（3）		ビジネス手帳による学習状況を確認し、適切な対応がとれること	
		10週				
		11週				

		12週	・ 自主学習	計画に基づいて学習を進められる。
		13週		
		14週		
		15週	・ 成果報告書の提出	1年間の成果をポートフォリオとしてまとめ、次年度の計画につなげることができる
		16週		

評価割合			
	成果物	ポートフォリオ	合計
総合評価割合	70	30	100
知識の基本的な理解	50	0	50
主体的・継続的な学習意欲	20	20	40
態度・志向性（人間力）	0	10	10